

全国保健師長会

群馬県支部

五二つうしん

令和5年度 第2号



発行日

令和5年12月20日

支部長 永井 佳美

1 群馬県支部長あいさつ

支部長 永井 佳美

日頃より、会員の皆様には、当支部活動に御協力いただき、深く感謝申し上げます。

また、9月のブロック研修会では、多くの方に御参加いただき、大変ありがとうございました。

さて、早いもので、令和5年も残りわずかとなりました。今年は、新型コロナが5類へ移行となり、少しずつ対面による保健活動に戻りつつあるかと思えます。一方、コロナ禍を機に生活全体の場面でDXが推進され、私達の仕事の仕方にも変化がみられていることと思えます。今後も人々の生活の変化に合わせて、将来を見据えた地域の健康課題への対応やより効果的な活動方法を探求しながら常に変化を続け、アウトカムにつながる保健活動が求められていることと思えます。引き続き皆様と力を合わせて、よりよい活動を推進していきたいと思えますので、御協力をよろしくお願いいたします。

何はともあれ、今年も健康で仕事を続けられていることに感謝し、新しい年を迎えたいと思えます。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

2 北関東・甲信越ブロック研修会が開催されました

令和5年9月2日（土）、高崎市役所にて開催されました。

「保健師活動の転換期における人材育成～原点を見直そう～」をテーマに、151名（会場参加58名、オンライン参加93名）と多くの皆さんに参加していただきました。

全国保健師長会会長 松本珠美氏の「全国保健師長会活動報告」から始まり、3例の保健師活動実践報告がありました。その後のグループワークでは、人材育成について積極的な意見交換が行われました。

全ての内容が身近なテーマであり、働く自治体は違いますが、共通の思いを抱く沢山の仲間がいることを改めて実感できる研修会となりました。

【主な内容】

○全国保健師長会活動報告 全国保健師長会会長 松本 珠美氏

○保健師活動実践報告

・報告1「桐生市の妊娠期から子育て期の母子を支える切れ目のない支援」 群馬県桐生市役所 久保 明子氏

・報告2「地域包括ケア促進のための組織再編成」 新潟県糸魚川市役所 山岸 千奈美氏

・報告3「コロナ禍での保健活動を振り返って、これからの保健師人材育成を考える」

長野県長野市保健所 鎌田 洋子氏

○グループワーク

テーマ「保健師活動の転換期における人材育成～原点を見直し、これからの考える～」



【感想】北関東・甲信越ブロック研修会に参加して



県保健師

今回は、会場とWEBのハイブリッド開催でした。会場には、全国保健師長会の松本会長を始め、来年度主催の新潟市、県内の保健師が集まり、明るい活気に包まれていました。

最初の松本会長からの活動報告で、今年の活動スローガンについて御説明いただきました。「誰ひとり取り残されない」にこだわり策定され、会員も取り残されないよう助け合おうというものでした。

保健師活動実践報告に感銘を受けた後、人材育成に関するグループワークが行われました。OJTの話題で、「リーダーのカラーで職場の雰囲気が変わる」という意見があり、「私たちは生き生きと働いているだろうか」と語り合いになりました。少しだけ暗い雰囲気になったのも束の間、「大変なこともあるけど、取り残されないよう助け合って乗り越えよう」と、励まし合い、グループワークが終了。何だか元気になって帰路に着きました。

開催にあたり、準備に関わった役員の方々、会を有意義なものにくださった発表者そして参加者、全ての皆様に感謝します。



市町村保健師

全国保健師長会活動報告では、会の発足からの活動内容について知ることができました。保健師業務に関する情報交換、研修、調査研究など公衆衛生に看護活動を展開する中で変わりゆく地域の健康問題の転換期を仲間とともに乗り越える「誰ひとり取り残されない」活動が大切であるということを実感しました。



また3名の方から保健師活動実践報告がありました。母子保健の報告では、妊娠期から子育て期の母子を支える切れ目のない支援について虐待予防や多様化する問題に関係課及び関係機関が連携した取り組みについて知ることができました。また、地域包括ケア促進のための組織編成の経緯や連携についての報告では、地域包括支援センターと

連携しながら総合相談体制の構築を図るため、周りの組織を巻き込みながら組織編成をしていく過程での保健師の役割について学ぶことができました。そして人材育成についての報告ではコロナ対応で心身の疲弊からモチベーションの低下や不安・緊張を抱える保健師活動の中で、階層別研修会でグループミーティングを実施し、職場内の現状や保健師の個人で抱える思いを吐き出せるようにして自己肯定感を高めセルフケアにつなげるプロセスについて知ることができました。今後の参考になる貴重なお話を聞くことができました。研修の最後は「保健師活動の転換期における人材育成」をテーマにグループワークを行い人材育成における現状や課題について情報共有することができました。



お忙しい中、研修会を企画いただいた役員の皆様、大変ありがとうございました。



【アンケート結果】

たくさんの方にご回答いただき、ありがとうございました。
ほんの一部ですが、感想やご要望も掲載させていただきます。



○回答者数 105人

	会場参加	オンライン参加	計	割合
会 員	37人	46人	83人	79.0%
非会員	13人	6人	19人	18.1%
未記入	1人	2人	3人	2.9%



○全国保健師長会活動報告について

	会場参加	オンライン参加	計	割合
大変参考になった	32人	20人	52人	50.5%
参考になった	19人	32人	51人	49.5%

【主な感想】

- ・今後の活動方針について、最新の情報や保健師の活動状況を踏まえて話していただいたため、先の見通しがつき、たいへん参考になった。保健師活動の転換期を仲間とともに乗り越えたいと感じた。
- ・初めての参加だったため、活動方針・内容がわかり、参考になりました。
- ・コロナ禍のふり返りが自組織ではできていないと感じる中、貴重な調査報告が聴けて良かった。
- ・昨年度行われた人材育成に関しての調査結果等参考になりました。新規採用保健師もいるので、提言を踏まえて育成環境を整えていきたいと思います。

○保健師活動実践報告について

	会場参加	オンライン参加	計	割合
大変参考になった	40人	19人	59人	56.7%
参考になった	11人	34人	45人	43.3%

【主な感想】

- ・各分野の取り組みを報告していただき、本市の活動と照らし合わせながら、今後の課題解決に向けて取り組んでいきたい。
- ・各市から母子保健分野、地域包括ケアシステム、人材育成など、どれをとっても本市の課題と重複していたため活動内容について参考にし、さらに広げて行けるとよいと思った。
- ・人材育成について、改めて考える機会になり、参考になりました。
- ・自分たちの働きやすい環境の組織、住民にとって必要な組織を作るのは自分たちなのだというあたり前のことが改めて大切だと思いました。
- ・他の自治体の活動を知ることができ、いろんな気づきができました。桐生市の母子保健活動、地区担当、コーディネーター等しっかりしていて、素晴らしいと思いました。
- ・他市の組織体制や事業内容をご紹介いただき、参考になった。特にコロナ禍での保健活動から今後の人材育成を考えるでは、階層ごとの各分析が興味深かった。

- ・長野市の人材育成について、大きなストレス（＝コロナ禍）にさらされた後の保健師達に対し、組織として「グループミーティング」を実施したこととその成果は、本当に素晴らしいと思いました。皆の思いを「はき出す」ことの重要性について考えさせられました。
- ・「見て、つないで、動かす」保健師活動の原点を確認できた。時代に合わせた課題に柔軟に対応しようとする保健師のたくましさを感じた。また専門職であるが故のセルフケアの大切さも痛感した。管理職も本音を語れる場があり、うらやましく感じた。
- ・3題とも各職場で管理的な立場から、課題の解決に向けての体制整備や役割を果たすため創意工夫して取り組んでおられることが伝わり、仕事に向かう元気をいただきました。

○グループワーク（情報交換）「保健師活動の転換期における人材育成」について

	会場参加	オンライン参加	計	割合
大変参考になった	39人	15人	54人	64.3%
参考になった	12人	18人	30人	35.7%

【主な感想】

- ・人材育成の課題はどの自治体も同じであり、それぞれの対策を伺うことができ、前向きに取り組むきっかけになった。
- ・県内それぞれの自治体の現状を知ることができました。もう少し時間が欲しいと感じましたが、いくら話しても終わらないと思いますので、ちょうどよかったかもしれません。
- ・初めての参加でしたが、やはりコロナ禍により、他の自治体との情報交換会などができなかったのので、様々な意見が聞けて参考になりました。
- ・先輩保健師が生き生きと楽しそうに働くことが、後輩のためにも良いということを感じた。
- ・他自治体の人材育成の状況がきけてよかった。まずはOJT、プリセプターをフォローする体制が必要だと思った。
- ・時間が短く感じました。
- ・長期的に見たうえで人材育成の必要性を知ることができました。人材育成ガイドラインと多様性の両立、モチベーションの維持に対する支援など、今後の課題について、グループで共有することができた。
- ・みなさんと話せてよかったです。共有できることは大切だなと感じました。
- ・オンラインでの実施であり、5人中3人が同県内のメンバーだった。グループ分けに苦慮されたと思いますが、他県の様々な取組をもっと共有できたらと感じた。
- ・県外の方とお話しができるのは貴重な機会であるが、初めて会う方とオンラインで意見交換するには馴染むまでの時間も必要で、時間が短かった。



○研修の方法について

	会場参加者	オンライン参加者	計	割合
リモート	3人	25人	28人	27.2%
集合型	15人	6人	21人	20.4%
どちらでもよい	33人	21人	54人	52.4%

【取り上げて欲しいテーマ】

- ・「時代の要請に応えるための保健師活動について～今、何がもとめられているか～」などの視点でお話を聴講できる機会があればお願いしたい。
- ・保健師活動指針の改定に関連した自治体保健師向け研修など。
- ・管理職（係長以上等）になった保健師の思いを共有し、これから保健師管理職としてのあり方、めざす姿などが学べるとよいと思いました。もえつきないようにしたいと強く感じています。
- ・新人教育について（新規採用保健師への対応。経験ある保健師が新規採用された場合の対応。）
- ・災害時の救護所運営。
- ・統括保健師について。
- ・管理職の立場にある人のメンタルヘルス研修。
- ・地区活動の取り組みの現状と課題。
- ・今回のような各市町村で取り組んでいる人材育成や課題などの話し合い、情報共有。
- ・保健師はやるが多くなっていて、人はいない状況です。スクラップアンドビルド、事業の統合化、保健師が専門性を発揮するために追い詰められない仕事の在り方。
- ・新しい支援事業を展開するために保健師ができること。
- ・グループワークは時間も短いので、参加自治体のテーマに沿った基本情報をまとめておくと効率が良いだろうと思った。



3 全国保健師長会代議員総会が開催されました

去る 11 月 18 日（土）長野市において、第 45 回代議員総会がハイブリッドにより開催されました。午後の研修会では、慶應義塾大学看護医療学部教授 田口敦子先生の基調講演「DX で保健師活動はどう変わる？～今保健師が取り組むべきこと～」と、大分県西部保健所、静岡県島田市から ICT 活用や DX 化への取り組みに関する実践報告がありました。これらの資料については、全国保健師長会のホームページからダウンロードできます。

HP → <http://www.nacphn.jp/02/daigiin/html/2023.html>

※来年度は、R6.11.9（土）に福井県での開催が予定されています。

体調管理に気を付け、寒い冬を乗り切りましょう。
今後とも本会活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。

